

宗務所婦人会報

第32号



曹洞宗宮城県宗務所婦人会



岩手県奥州市 奥の正法寺

目次

「ごあいさつ」	宗務所婦人会会長 金澤 洋子… 2	“こんな婦人会活動やっています”	光明寺仏教婦人の会… 9
「挨拶」	宗務所長 三田村道雄… 3	—大人の遠足—	當行寺婦人会…10
「大自然と共に…」	東北管区教化センター統監 高橋 哲秋… 4	秋の研修会—正法寺参拝	清水寺仏教婦人会…11
宗務所婦人会令和元年度総会…	5	令和の春	平成30年度宗務所婦人会新年研修会
曹洞宗婦人会東北管区研修会…	6	評議員報告…	圓通院婦人会…11
緊張した東北管区研修会無事終了！		“岩手でお待ちしています。”…	12
「総合司会をやってみて」…	6	評議員の仕事…	12
東北管区研修会に参加して…	7	「写経」のお願い…	12
東北管区研修会「たくさんの感動に感謝」…	8	編集後記…	12
中間報告…	8		

いっしょに

曹洞宗宮城県宗務所婦人会 会長 金澤 洋子



日頃より宮城県宗務所婦人会にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

今秋には大型台風十九号、さらに大雨と災害が続き全国そして宮城県の各地にも甚大な被害が出ました。今でも復興に時間がかかっており心よりお見舞い申し上げます。

今年の東北管区研修会は山形県かみのやま温泉「古窯」にて開催され宮城県からは四十八名の出席でした。宮城県の評議員でもある花釜さんと私は司会の役を仰せつかり不

安でいっぱいでしたが、皆様に支えられ、そして北村主監様のお力添えもあり乗り越えられましたこと改めまして御礼申し上げます。秋の日帰り研修会は岩手県奥州市の「正法寺」の参拝と精進料理それに猊鼻溪舟下りでした。前日までは警報が発せられる程の大雨でしたがなんと当日の朝はみごとに秋晴れとなり参加者四十名、心ひとつになり出発いたしました。正法寺では山主様のご法話を頂き、そのなかで三歳までの子育てがとくに大切に三歳までに良し悪しをおしえる事。人のために無償でやれる事、それが宗教的な生き方をしているという事になるなどいろいろ学習さ

せていただきました。最後に山主様の「あなたがして欲しいように人にしてあげなさい」と言う言葉が心に残りました。帰路のバスでは「澄みわたる空」を合唱しながらの楽しい有意義な一日が終了しました。別れが名残惜しいほど和やかな雰囲気にな縁でむすばれた仲間同士がこのような活動を通して縁が深まり曹洞宗婦人会のスローガンである「広げよう 信じよう 美しい心のふれあい」を実践できるものと感じております。これからの活動といたしまして被災地への支援活動、新年研修会等が予定されております。又宮城県宗務所婦人会への加入寺院の増加を切に願っております。是非ご加入下さり協力し合い活動してみませんか。

合掌
(清水寺檀徒)

曹洞宗婦人会会員の誓い

おしみない心で

どうぞさしあげます

〈布施〉

やさしい笑顔で

どうぞしっかり

〈愛語〉

幸せを祈って

どうぞおさきに

〈利行〉

手をとりあって

どうぞごいっしょに

〈同事〉

私は、今日も菩薩さまの

願いに生きます

挨拶

曹洞宗宮城県宗務所長 三田村 道雄



暦においては立冬も過ぎ、冷気が次第に深まり、草の葉に宿る露も霜となる時節となりました。

管内婦人会会員の皆様におかれましては、常日頃、菩提寺を通しての活動、そしてお力添えを賜っていることに、深く感謝を申し上げます。

昨今、地球温暖化・異常気象と言われて、将来の環境問題が取沙汰される中、自然災害・台風等の影響により、各地において甚大なる災害が発生しております。

災害により、お亡くなりになられた方々に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。ま

た被災された皆様にお見舞い申し上げ、被災地における一日も早い復旧復興されますことをお祈り申し上げます。

県内におきましても、台風19号の影響により、河川の氾濫・土砂崩れ等において、ご寺院様、檀信徒の皆様にも甚大なる災害が発生いたしました。避難所で生活されている方々も多いということです。

重ねてお見舞い申し上げます。早速、九州管区婦人会様等より、支援物資を頂戴いたしました。ありがたいことでございます。

宗務所においては、臨時教区長会を開催させていただきました。本庁職員の出席のもと、今後の対応について話し合いをさせていただきました。

昨年十二月この職を拝命し、約一年が過ぎようとしています。婦人会に初めて出席させ

ていただいたのは、新年研修会において、宗門が掲げる「人権」「平和」「環境」の三大スローガンがありますが、その一つの「人権」についてお話をさせていただいた時でした。

婦人会の活動は、菩提寺の行事の他に、県内、管区・全国と、活発に活動されていることに對し、改めて敬意を表すものです。

特に本年七月、山形県かみのやま温泉を会場に、東北管区研修会が、「ひろげよう 信じよう 美しい心のふれあい」をスローガンに、地域社会が壊れ、孤立する人たちが

増える中で、私たち婦人会員は日ごろ菩提寺に集い、被災地支援などを通して「会員の誓い」を実践し正しい信仰とお互いの縁を深める活動をしていきます。この研修会で、お互いが美しい心のふれあいを感じあい、更に研鑽を深め、その先へとともに進んで行きましよう。手をとりあって

どうぞごいっしょに をテーマとして、東北六県より三六

〇名を超える大勢の婦人会員が集いました。当県においても、九婦人会四十八名のご参加をいただきました。二日間にもわたり充実した研修会であり、また、会員皆様の親睦も深められたのではないかと思います。因みに来年は、岩手県花巻温泉にて開催される予定になっております。

宗門婦人会発足の起因は、「女性の参加が不可欠、寺族・檀信徒が一つになって、宗門信仰に基づくさまざまな活動寺院の興隆 地域社会の為に尽力……。」とあります。

篤信の婦人の皆様が、互いに励みあい親しみあい、婦人会活動を通して心の通った結びつきをつくり、互いに幸福を築いていくことは、布教伝道において、益々必要であると思えます。

婦人会会員の皆様は、檀信徒の先達者であります。今後とも会員の皆様には、菩提寺における活動はもとより、宗務所における活動にもお力添いを賜りますようお願い申し上げます。

合掌

大自然と共に…

曹洞宗東北管区教化センター統監 高橋 哲秋



宮城県宗務所婦人会の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じ、お慶び申し上げます。普段は菩提寺に集い、ご本尊様にお仕えし、和氣藹々の時間の中でお互いの親交を深められていることと存じます。

去る十月十七・十八日、かみのやま温泉「古窯」で開催された管区研修会には、宮城からも大勢のご参加を戴きありがとうございます。料理研究家の井上ユリさまのお話、長井市洞松寺小野卓也ご住職のボードゲーム、そして南陽市高福寺副住職佐藤慈成さま方のピアノとチェロとソプラノのハーモニイから、心の糧を沢山戴きま

した。山形県第二宗務所婦人会のご尽力と山形県第二宗務所の役員各位に対し皆様と共に感謝と御礼を申し上げたいと存じます。

さて近年、日本各地が未だ曾てないほどの風水害に見舞われています。特に十月十二日に襲った台風十九号は七十一河川八百五カ所も決壊し、亡くなった人が九十二人、不明三人（十一月十三日・NHK調べ）に及びました。

宮城県でも十八河川三十六カ所が決壊し、土砂災害は二百三十二カ所となり、住宅被害は二千棟を超えました。亡くなった方が十九人もおりました。その後も相次いで大雨が続き、復旧作業を妨げました。

十月二十五日の大雨では、千葉で十一人、相馬市で二人が亡くなりました。

その日の夕方、偶々私は茨城県

竜ヶ崎からの帰途、五十km規制の常磐高速道路を通行中でした。南相馬から高速道は閉鎖され、カーナビに従って一般道を北上したのですが、洪水で周りとの区別もつかない暗い道を走る途中、崖から流れ落ちる滝のような水で車が流される恐怖を味わいました。福島県長柄町で亡くなられたお二人の恐怖はいかばかりかと感じた次第です。

一連の災害で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに被災した皆様にお見舞いを申し上げます。

このような自然災害は年々激しさを増しています。その要因は、大量生産・大量消費・大量破棄の経済優先による自然破壊と言われます。森林破壊・大気汚染・水質汚染・海洋汚染・土壌汚染・生態系破壊等々、私たちが地球に及ぼしている害は膨大です。原子力は地球を破壊してしまう威力を持っています。

『旧約聖書』の「海と魚と天の飛ぶ生き物と地の上のあらゆる生き物を服従させよ（創世記一節二十八章）」という意識は、私たち

仏教徒にはありません。

お釈迦様がおさとりになった時の「我、大地有情と同時成道（私はこの世界の全てのものと同時に悟りを得た）」という言葉のように、私たちは全てのものと同様に、私たちが全てのものと同様に、合いながら存在しています。しかも食物連鎖に代表される弱肉強食の中で、他の犠牲の上に生存しています。

だからといって、地球は人間のためにあるのではなく、宇宙の中の地球という大自然によって生かされていることを忘れてはいけません。

婦人会のスローガンは「ひろげよう 信じよう 美しい心のふれあい」です。そして「会員の誓い」には①おしみない心でどうぞさしあげます（布施）②やさしい笑顔でどうぞしっかり（愛語）③幸せを祈ってどうぞおさきに（利行）④手をとりあってどうぞこいっしょに（同事）の四摂法が掲げられています。地球に対しても菩薩さまの願いに生きたいものです。

（岩手県遠應寺住職）

「曹洞宗宮城県宗務所婦人会総会」

日時 平成三十一年四月十八日(木)
場所 宮城県宗務所二階

開会式

黙祷
宗歌奉唱
献灯・献花・献香
本尊上供(般若心経)
会員の誓い

金澤会長挨拶

会員数減少の中、
過年度予定の行事をきちんと
終えられたこと各方面に感謝。

三田村所長挨拶

菩提寺を通して婦人会活動を
していただいていること感謝。
研修とは自分の資質をあげて
行くことです。

来賓

武山宗議会議員

来年(令和二年)には、大本山永平寺で創立四十五周年記念
大会を予定している婦人会の歴史を感じる。

高橋教化センター統監

十年目になるが、震災後は関連した活動がほとんどになった
が、管長さまの「告諭」―座禅のこころ―を今年は基本とし
て行く。

神作県青年会長

青年会は、五十周年記念を昨年終えた。新しい時代に添う
事業をやって行きたい。お互いに協力して行きましょう。

北村県寺族会長

昨年に続いて二度目の挨拶となりました。私達の学習会で、
水は生命の源であることを学びました。
「会員の誓い」にある、「手をとり合ってどうぞ一緒に
(同事)」。婦人会の皆さんは実践なさっています。
(お祝辞より抜粋、敬称略お許しのほど)



議長選出―圓通院婦人会 瀬戸洋子さん
監査報告―二階堂千代子監事

いずれの報告、案の上程も万場の拍手
を持って承認されました。

。きやら募金について(平成三十年度分)
六四、七一七円は婦人会本部の「きやら
募金」基金へ送金済みです。

尚、今年度総会時は三二、四九五円の
まごころをお預り致しました。

午後の研修会は、東海泰典教化主事よ
り「宗歌」についてお話しをいただきま
した。「教えていただいたことをふまえ
て、歌いましょう」と声があがり、終り
に心込めてみんなで再奉唱致しました。



宮城県宗務所婦人会令和元年度主なる事業

(平成三十一年四月〜令和二年三月)

四月十八日 新年度総会、研修会(於宗務所)

七月十七日 東北管区研修会

十八日 (山形第二―かみのやま市)

十月二十三日 秋の日帰り研修会(岩手県奥州市―正法寺)

十二月 会報三十二号発行

令和二年

一月三十一日 新年研修会

その他、管区センター、宗務所主催の行事に積極的に参加、
「グリーンプラン運動」の継続―墓地環境に関して―

令和元年度 曹洞宗婦人会東北管区研修会

日時 令和元年七月十七日(水)～十八日(木)
場所 かみのやま温泉「古窯」

日程

一日目 七月十七日(水)

12時30分 受付

13時30分 開会式

輪絡子授与

オリエンテーション

14時45分

講義1

「音の架け橋」

「トリオで紡ぐハーモニー」

休憩(きょうら募金)

16時30分

講義2「思い出は食欲と共に」

部屋移動他

19時00分 薬石懇親会

二日目 七月十八日(木)

7時00分 起床・洗面

7時20分 朝食―五観の偈

8時40分 勤行

9時00分 SVA紹介

9時20分

講義3

「安ぎの布施とボードゲーム」

10時20分 閉会式

散会

緊張した

東北管区研修会

無事終了!

総合司会を

やってみて

評議員 花釜祥子

山形での管区研修会の総合司会は、宮城県が当番であることは、一年前から分かっていたのですが、いざその日が近づくと胸がドキドキしてきました。山形第II婦人会長から時々電話を頂き、講師先生、参加人数の把握などしており、講師先生については、ネットで調べたり本を読んで豆知識をたくわえておきました。講義内容に大きな期待を持ちました。司会は、何回も入れ替わりあるより前日、後日と分けて充点的に受け持つことに



しました。北村暁秀主監さんには詳細に渡ってご指導いただきました。名簿の名前をまちがえないように気をつけ、時間の配分、休憩時間の入れ方、また、講師先生方の紹介等お知らせもののない様にと注意を集中しました。三七〇人の会員さんを前にしての司会は大変。でも楽しい音楽、歌が流れてきて気持ちが楽になりました。懇親会で山形大学の学生がピチピチした体操の様な花笠踊りを披露していただき、会場内の人達も輪になっ

て楽しく踊り大きなエネルギーを頂きました。高橋哲秋教化センター統監さんに挨拶に行くと、「いつもと司会の時話し方が違うね。随分緊張しているよ!力を抜いて」とあたたかいアドバイス頂きました。明日はリラックスして司会を!と思い気持ちが楽になりました。統監さんありがとうございました。二日目、朝課でひきしまり、おいしい朝食。講義Ⅲは小野卓也住職様の指導で、隣りの人としぼし話し合いとなり、会場内は時折り笑い声も聞えてきました。相手の話をよく聞いて、自分の気持ちを伝える:大切な協力ゲームの始まりでした。すべての研修終了、司会も無事終了。「司会長かったよ。」と仲間に行われ疲れも飛んでいきました。「来年、岩手で会いましょう」と今年の当番県の方々に盛大な見送りを受け、婦人会員の強い絆を感じました。「皆様ありがとう!お元気でネ!」と大きな声で感謝を伝え帰りのバスに乗りました。

(圓通院婦人会)

東北管区研修会に 参加して

清水寺仏教婦人会
二階堂 とも子

今回の講師の方お二人は、私の子供たちと同年代と思われ、経歴の凄さと才能から成長された環境に思いをさせました。

佐藤慈成さまには参加者に合った選曲構成での生演奏を心から楽しみました。中でも倉本聡さんのテレビドラマ『風のガーデン』でチェロ演奏された横溝宏幸さまとの共演『レ・グラン・タンゴ』は圧巻でした。お二人の見事なアイコンタクトで心もった力強い演奏は鳥肌が立つほど感動しました。小野卓也さまの講演は、遊びの目標達成を通して、相手に喜んでもらえるもの、ことを教えていた



できました。

人間は本能的に与える喜びを持っていること。喜んでいただくプレゼントをするには相手によって柔軟に対応することが大事。そしてお布施についてお坊さんは『お気持ちで』とおっしゃる。私達檀信徒は『どれ位までなら喜んで出せるか』が基準とのお話が心に残りました。

丁寧な資料も素敵なお土産になりました。

お二人から『時代 変わったなあ』と感じました。きっとご両親さま方は、子供の才能を見抜き、子供のやりたい事に理解と協力をされたのだと思います。

お二人の講師さまは好きなことをさせていただけたことにご両親さまや周りの方へ感謝を感じ、住職を務めながらその培った才能で多くの方に楽しさを広げておられます。各地でのコンサート、TV・ラジオでご活躍中です。

我が家の娘二人には進学・就職・結婚人生の大事なことは全て本人に決めさせました。それで良かったんだとも感じました。

これからは、男だから、女だから、年だからなどという思い込みや執着に捕らわれないこと。一人

一人見合った本当にやりたいことを身につけ、達成出来たのは、たくさんの方に助けられ守られたお陰と感謝する。自分も大事だけでもみんなの人も同じく大事という思いやりの心と心に余裕が生まれ、人から喜ばれる人になっていく。どんな人をも認め合ういい時代が変わっていくのだなあと感じました。



東北管区研修会

——たくさんの感動に

感謝——

耕田寺婦人会

太田 祐子

その朝はあいにくの小雨の中、泉区の清水寺さんに集合した。東松島の潤洞院さん、三本木の圓通院さんと当寺会員が合流し出発。仙台駅東口で乗車した皆さんで総勢四十六名は、当番県の山形県上の山市へ向かいました。

車中は再会の喜びに会話が弾み、賑やかで楽しい時間を過ごしながらいつしか外の景色は青空へと好転していました。

会場到着後、「山形牛丼」と山形牛の芋煮汁の昼食、仙台の牛タンサイダーなる物もみんなで試飲。胃の中にギューギュー詰めて完食でした。

今回宮城県は司会進行係の担当。



金澤会長さん、花釜副会長さんに担って頂きましたが、素晴らしい見事な司会でした。

「講義1」は、ワクワクして待っていたコンサート。山形県南陽市高福寺副住職 佐藤慈生様のピアノを中心とされた「音の架け橋」トリオで紡ぐ「ハーモニー」です。ソプラノ歌手の佐々木寿子様、チェリストの横溝宏幸様と共に奏でられた演奏や歌に会場一杯魅了されました。余韻が今でも…。

「講義2」は、作家井上ひさし氏夫人の井上ユリ様の「思い出は食欲と共に」です。

お二方の幼少期の事や、熱烈なファンで大変尊敬していたユリ様が生涯を共にされた日常の貴重なお話まで至り、盛り沢山の内容でした。「ひよっこりひょうたん島」は、普通の人が何でもない事を井上氏はとても面白おかしく表現されており。多くの子供の心をつかみ今も尚、みんなの思い出となる作品になりました。

懇親会には、山形大学の学生の皆様による歓迎セレモニーの「花笠音頭」の大変元気の良い踊りがアンコールも交えて盛り上がり場内いっぱいの参加者は若さとパワーを貰い、私も精一杯拍手を送りました。

初日から数多くの刺激を受けたり感動する場に出会えたこと心から感謝しております。 合掌

被災された皆様にご心より

お見舞い申し上げます

十月十二日に上陸の台風19号は、宮城県内に広範囲にわたる地域に大きい爪痕を残し、今までの日常生活がうばわれ、避難所や被災を免れた家屋の一部分での生活など一ヶ月以上経つ今も不自由な毎日をお過しのこと想像以上の大変なものと思われまます。

宗務所婦人会では、本部婦人会に被害状況把握の参考資料として新聞記事等送付して報告をして参りました。

「曹洞宗婦人会」きゃら基金より災害義援金として五十万円を拠出していただき、宮城県宗務所義援金口座に振込んでいただいております。

また支援物資として、いち早くタオルが多量(一万枚)に送られて来ましたが、届先やタイミングの判断は私達には難しいので、総括の宗務所さんに御指導を頂き微力ながらもお役に立てたらと話し合っております。

十一月十五日中間報告

評議員より

“ごんな婦人会活動やっています”

―大人の遠足― 今年は仙台方面に

光明寺仏教婦人の会

光明寺仏教婦人の会は、今年で三十五年になります。五月花まつり総会に始まり、九月施食会法要のお手伝い、十二月成道会法要の後には忘年会、二月の針供養後の新年会、三月の涅槃会は写経等取り入れて一年の締め括りです。その間にも毎月健康体操「ふまねっと」や研修旅行、お寺行事に自由参拝などがあります。

今回は研修旅行についてお話しします。ここ数年、大人の遠足と称して、七月にブルーベリー狩りをしてその後温泉につかり、楽しい宴会が恒例になっていました。



NHK仙台放送会館

今年は、ちょっと違います。NHK仙台放送局が新しくなったという事で、スタジオ見学に行ってきました。迫力ある大画面を見た

り、VRバーチャルリアリティを体験したり、テレビでおなじみのスタジオに入ったり、集合写真を撮る時は、ホームページに二ヶ月位は載るといふことで、皆ちょっとおすまじしたりあつという間の一時間半でした。

お昼は普段あまり行くことのない宮城県庁十八階のレストランで戴きました。

午後、北山の秀林寺様へ参拝、仙台七福神の大黒様をお参りさせていただきました。方丈様にご本尊様大黒様の謂れ等々お伺いし、お参り致しました。大変大きく、黒光りしている大黒様に一同びっくり。ご朱印をいただき、これで今日の遠足も終わり帰路につくのですが、バスの中でもうちょっとゆっくり帰りたいという要望で、急遽、バスの運転手さんの計らいで大和町の道の駅に寄ることにな



仙台七福神の「大黒さま」お参りに

り、今日はおじめてのお買物タイム、会計さんが会費が残りそうだと、という事で一人一人におみやげまで買って持ち帰りいただくという事になり、再びにぎやかで楽しい帰り道になりました。

来年はどこへ行くのか楽しみなところですよ。

漆黒の大黒尊天

手を合わす



国内最大級の茅葺の法堂を背に

宗務所婦人会 秋の研修会

— 正法寺参拝 —

當行寺婦人会 森 恵子

令和元年十月二十三日(水)

穏やかな秋晴れのもと宗務所婦人会研修会が行われました。行程は曹洞宗元第三の本山正法寺見学と精進料理をいただく、そして梶鼻溪船下りと四〇名の参加者で親睦をはかりながら楽しんで来ました。

正面の惣門をくぐり石段を這いつくばりながら登ると太い杉木立の中に荘厳な法堂が現れ、思わず「すごい!!」と声が出ました。厚さ数十cmもある萱葺きの屋根、飾りの木彫などすばらしい古刹に感動しその場に立ちつくすほどでした。また庫裡にて住職さまの説法をお聴きしました。具体的な事例を基にお釈迦様の教え⇨人生の指針であることをお話していただきました。私なりに「自分にされたくない事は他人にもしないこと」と肝に命じ日々を過ごしたいと思いました。

お待ちかねの精進料理!! 漆塗りの器に色彩り良く盛りられ目にも鮮やか、まずは愛でて、これはどん



「五観の偈——いただきます——」

な味? 食材は何だろうかかなとワクワクしながらいただき、はしが半ば進んだ頃、責任者の典座和尚さまが、詳しく判りやすく説明して下さいました。そのお話しぶりは、一品一品やさしい料理に出ておりました。

驚いたことに、その典座和尚さまは教化センターの高橋哲秋統監さまのお弟子さん(息子さん)とこのことで一同納得のいったほっこりした研修の時間でした。

素材が生かされ手の込んだ精進料理おいしく満腹、満足、感謝でした。船下りの乗船の都合で諸堂拝観は出来ず残念でしたが、機会があればまた訪れてみたいです。船下りは先日の豪雨のため水量が多く全コースは出来ませんでした。船頭さんの歌やお話しに大笑いし楽しいひとときになりました。そして帰路の車中でも早口言葉を言い合うなど、終始なごやかな楽しい研修会になりました。



おだやかな川の流れでした

平成三十年度 宗務所婦人会新年研修会

— 平成三十一年一月二十三日（水） —

圓通院婦人会

永友 紀代子

新しい年を迎え仙台のモントレで今年も新年会に参加致しました。宗務所長三田村道雄様はじめ教化センター統監高橋哲秋様のお話しを心暖かくお聞きしありがとうございます。御婦人の力を期待しておりますとのこと。

宗務所婦人会の仲間の皆様にお会い出来た事うれしく思います。



お食事も洋食、中華とで食べやすくともおいしかったです。

食事を取りながら余興も楽しみました。盛り上がっていましたね。東松島の潤洞院婦人会さんのスコップ三味線は、見事なもので素晴らしい演奏でした。私達も若き頃を思い出し学生服に着替えて「高校三年生」を踊りました。六ヶ月練習を重ねて会場の皆さんにご披露出来ました。

新年研修会は、みのりあるお話しをたくさん聞いて、お仲間の婦人会の芸を楽しく観て、聞いて明日からの活力をいただけるよう楽しんで研修会です。

令和の春

清水寺仏教婦人会
遠藤 憲子

令和元年の穏やかな春の四月初め、仏教婦人会、最初の本堂掃除に参加致しました。会員の皆さんの明るい顔と声で元気に始まり、これから一年間の仏教婦人会のスタートになりました。さて令和になりさわやかな五月、私も春のスタートがありました。

秋田の孫達の運動会の応援でした。小六の孫娘、小学校最後の運動会の招待。格別の大きな声での声援でした。仙台にいた時の運動会とは又違ってやはり学年ごと二クラスの子供達は迫力ある小学校の運動会でした。小二の男孫は、これ又大ハッスルです。たのしい一日でした。

(笑)

六月初め頃から我が家のちっぽけな庭に、秋に友達からいただいた球根や株分けしていただいた花が順番に咲いていき、とてもうれしかったです。体調がちょっと優れない彼女に写真を撮って送り喜んでもらいました。梅雨が長かったせいか気分も優れない日々が続きましたが、明るくいこうと自分に言いかけています。我が家は昭和二年のうさぎ年の母がいます。働きづめの母でしたが明るく、冗談と、つつこみがとても上手な母です。夜布団に入る前に薬を飲ませて、気管支炎のテープを貼って一日が終わります。そして毎々一言。娘の私に「あんだも毎日ご苦労さんだね。」「早く寝て休んでください。ありがとうございます」と言ってくれます(笑) 令和元年！毎日足がしびれて痛いけど頑張っていこうね。

評議員報告

評議員 金澤 洋子

花釜 祥子

平成三十一年

四月二日・三日

東北管区研修会準備打合せ会

(山形県かみのやま温泉 古窯)

令和元年

五月二十八日・二十九日

「曹洞宗婦人会」全国評議員会

「曹洞宗婦人会」令和元年度

総会(東京 宗務庁)

七月十六日

東北管区評議員会・準備会

(山形県かみのやま温泉・古窯)

七月十七日・十八日

(山形県かみのやま温泉・古窯)

東北管区研修会

(山形第二当番)

十一月十三日・十四日

全国評議員会・東北管区評議員会

「曹洞宗婦人会」中央研修会

(東京 宗務庁)

予定

令和二年五月十三日・十四日

全国評議員会・総会

(東京 宗務庁)

十月七日・八日

「曹洞宗婦人会」

創立四十五周年記念大会

全国評議員会中央研修会

(福井県大本山永平寺)

評議員の仕事

評議員は、檀信徒会員より一名、寺族会員より一名、計二名が宗務所単位より選出され、任期は二年、本部婦人会への各届出や、助成金の申請などします。宗務庁での会議や研修会に出席して全国からの代表者の方々と交流も大切な学びの場となっております。各県に持ち帰り「宗務所婦人会」の活動に取り入れております。身近かな東北管内各県の評議員さんとの意見交流は、八年前の震災以降は特に大事なこととなっております。

“岩手でお待ちしています”

来年度の管区研修会は、六月三十日と七月一日の一泊二日、岩手県花巻市ホテル「千秋閣」で開催予定です。岩手県婦人会では既に皆様をお迎えする準備に取りかかっているようです。宮城県からも多くの会員のご参加を期待しております。

(教化センター統監老師より)

「写経」のお願い

「曹洞宗婦人会」は令和二年に創立四十五周年を迎えるにあたり、周年記念事業の一環として「写経」をお願いすることになりました。・四十五周年報恩記念・自然災害による物故者供養を慣れ親しんでいる「般若心経」の経文に託して納経したいと思えます。

一卷千円の浄財をお願い致します。(納経料共)

四十五周年記念式典は、令和二年十月七日・八日に大本山永平寺さまにて予定されております。

その式典の中で、経経式を執り行い納経塔に納めていただきます。

「写経」には、仏さまに対してなよりの報恩浄行であること、私達には心の安らぎを得る糧であることと、おしえをいただいております。

四十五周年を迎える仏教婦人会員である仏縁に感謝し、ご協力をお願い致します。

すでに各婦人会を通じて周知または「写経」をお済みのところもあります。令和二年一月末を目安に宮城県は取りまとめたく予定しております。

担当 評議員 花釜・金澤

編集後記

いろいろあったこの一年でした。まづ自然災害が多かったことに心が痛みます。これはやはり環境問題に辿りつくのでしょうか。治山治水問題は行政側と専門分野の研究機関にお願いして、私達なりに身近なところで小さいことでも自覚、実践に日常生活を引きしめていかねばと思う出来事でした。

また国内を会場に各スポーツの世界大会が行なわれ、ルールを解らなくとも“ワンチーム”精神で競技している選手達に声援を、そして勝利には拍手を送る日々がありました。必死にチームプレーをしている姿は、私達ひとりひとりに深い感動と努力する結果を教えてくださいました。

各種の会組織が、会員数の減少によりその活動が縮小されつつある危惧感は宗務所婦人会も例外ではありません。宗務所さんが始められたこと、宗務所さん始め教化センターさん、関係各位のみなさんに心より感謝申し上げます。

編集担当一同

発行

曹洞宗宮城県宗務所婦人会

〒九八一-一三一-一七

仙台市泉区市名坂字

檀町一六九-四

電話 〇二二-二一八-三八〇一

曹洞宗宮城県宗務所内